

「(仮称)生物多様性ちば県戦略」 の策定について

千葉県知事 堂本暁子



香取市の水郷地域の花菖蒲 (糠谷 隆)

(仮称)生物多様性ちば県戦略の策定について
本日の説明

政策づくりの「千葉方式」と
戦略策定のプロセス

千葉県の自然環境および
生物多様性の現状と課題

「(仮称)生物多様性ちば県戦略」の
必要性と方向性

(仮称)生物多様性ちば県戦略の策定について
本日の説明

政策づくりの「千葉方式」と 戦略策定のプロセス

3

政策づくりの「千葉方式」とは

徹底した情報公開と県民参加

県民による政策提言（行政が素案を示すのではなく白紙の段階から政策提言）

行政は法律や従来 of 制度との整合を確認

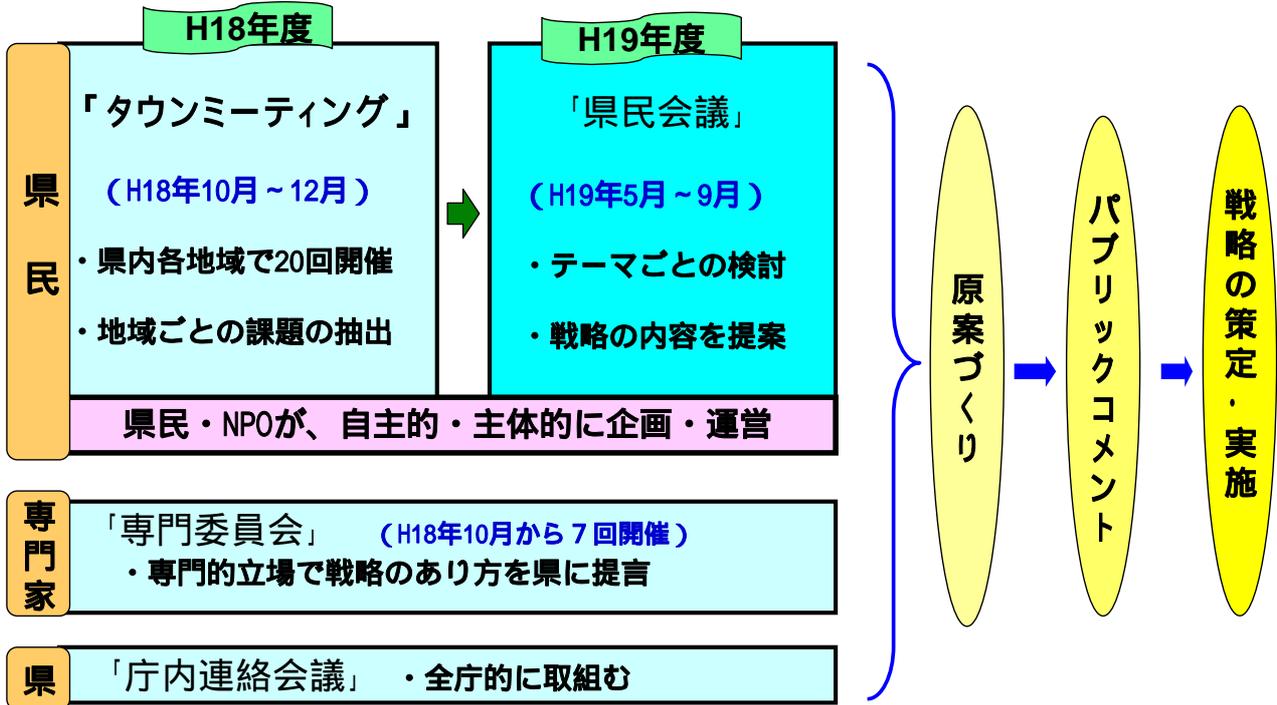
絵に描いた餅とならないよう、県民が自ら行動し政策を実践

県民と行政との協働による実践

「参加から行動へ」

4

「(仮称) 生物多様性ちば県戦略」の策定のプロセス



「県民会議」における自然発生的なテーマ

- 山・川・海の生物多様性
- 里海と漁業と生物多様性
- 谷津田の生物多様性
- 農林業と生物多様性
- 水循環と生物多様性
- 芸術・文化と生物多様性
- 土木技術者の生物多様性 など

千葉県の特徴を反映

供給サービス(食料、水、繊維、燃料)

調整サービス(気候調節、洪水、病気の抑制)



県民会議における検討テーマとMAの生態系サービス

7

県戦略策定の取組(18年度)



タウンミーティング



専門委員会



タウンミーティング総括大会



8

ちば生物多様性県民会議・戦略グループ会議 (19年度)



(仮称) 生物多様性ちば県戦略の策定について
本日の説明

**千葉県の自然環境および
生物多様性の現状と課題**

黒潮と親潮の出会いによって多様な南北の動植物が生息・生育

落葉広葉樹(夏緑樹)



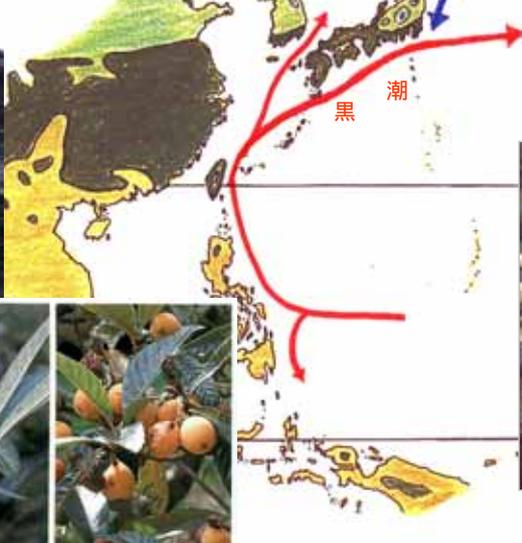
のナシ



栗山川の南限のサケ

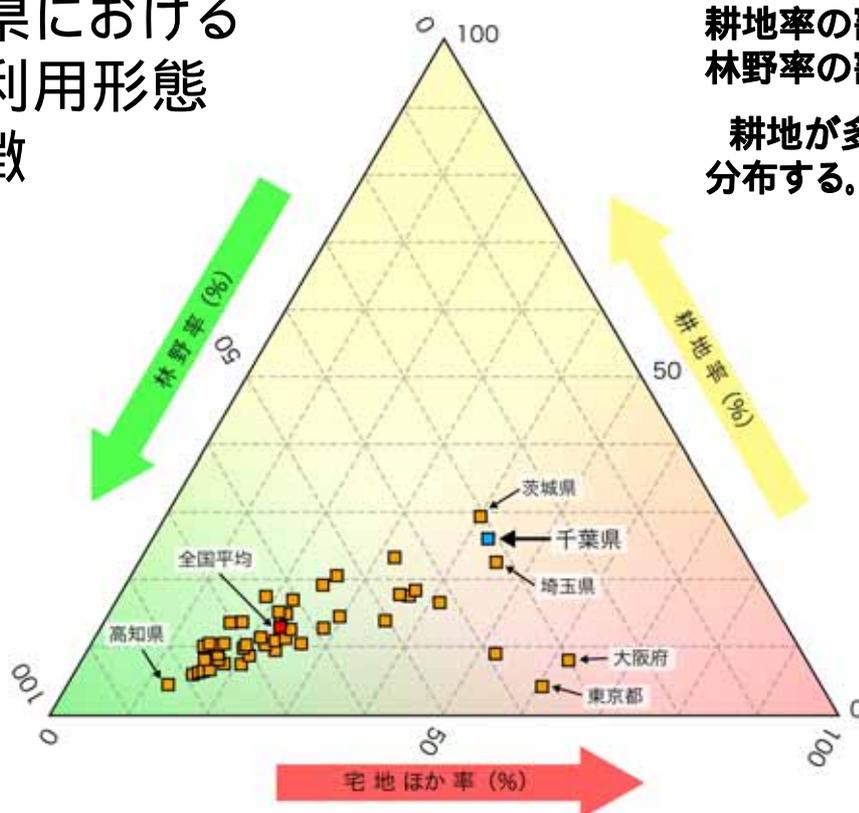


常緑広葉樹(照葉樹)のビワ



館山湾の北限の造礁サンゴ
エダミドリイシ(撮影・宮田昌彦)

千葉県における 土地利用形態 の特徴



千葉県は、宅地ほか率と耕地率の割合が高く、林野率の割合が低い。

耕地が多く、里山が広く分布する。

田畑や森林，川沼，集落など多様な環境モザイクの里山がもたらす生物多様性



千葉県に飛来したコウノトリ（齊藤岩夫）

泉の水神

メダカ

浅井条男 画（里やま自然誌・中村俊彦より）

自生地の保護



国指定天然記念物「成東・東金食虫食物群落」のノハナショウブ

原種と品種の生物多様性の保全



江戸時代に盛んになった花菖蒲の品種づくり

香取市の花菖蒲の品種（菊池眞太郎）



国指定天然記念物「成東・東金 食虫植物群落」

2003年 404種 (食虫植物8種) /1.7ha

絶滅危惧種 (25種)
(環境省)

絶滅危惧 類 (A類) 1種

ムカゴトソホ

絶滅危惧 類 (B類) 7種

ナガハノイシモチソウ, ヌマセリ, ヒメナエ,
クハシクサ, カガシラオオミスソホ, ゴマクサ,

絶滅危惧 類 14種

イシモチソウ, タコノアシ, イヌセンブリ, ミストラノオ, ヒメハッカ, タヌキモ,
ムラサキミカキグサ, ホソバオグルマ, ミズニラ, ミスマツバ, エビネ,
サギソウ, トキソウ

準絶滅危惧 3種

ウスゲチョウジタテ, ミクリ, シラン



ちばの海辺環境・里海の多様性



トビハセ (田中正彦)



九十九里の砂浜とラグーン



外房のリアス式海岸

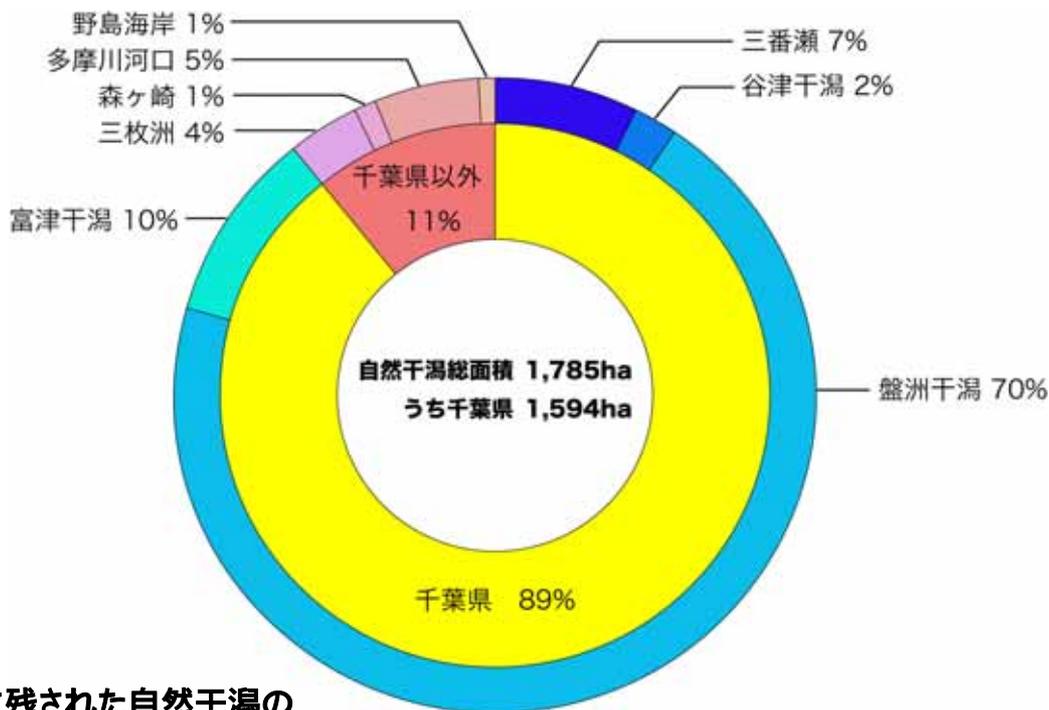


木更津市盤洲干潟



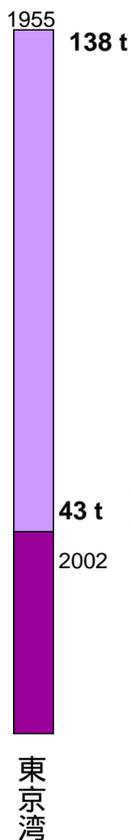
館山湾の岩礁海岸のヒジキの群落

東京湾の自然干潟の面積



東京湾に残された自然干潟の
約9割は千葉県沿岸にある。

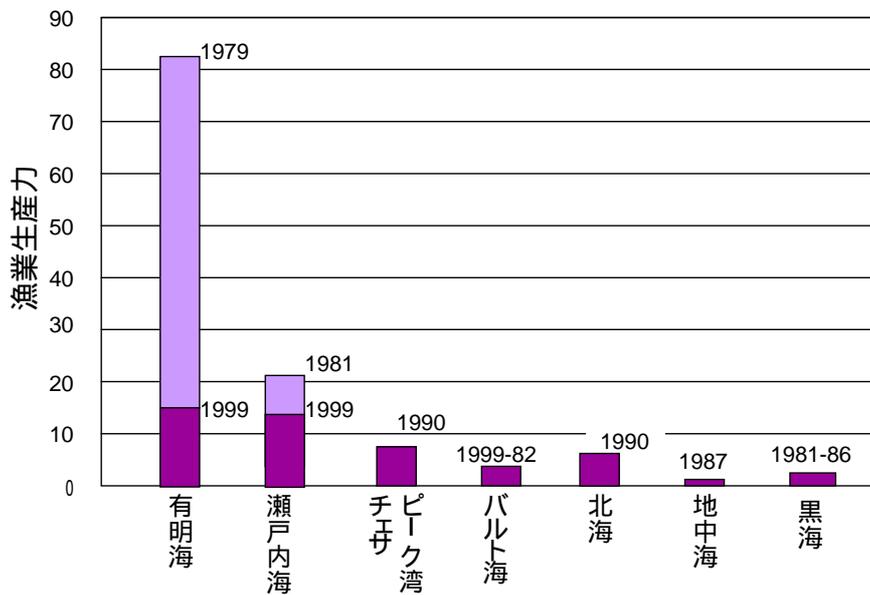
出典: 干潟ネットワークの再生に向けて、2004、国土交通省港湾局・環境省自然環境局 17



豊かな東京湾

東京湾(1,160 km²)の2002年 漁業生産 5万トン

(トン/km²/年)



有明海と他の閉鎖的沿岸海域の漁業生産力。
数字は漁獲量の得られた年を表す(柳哲雄,2006)。

ちばの自然と里山・里海のつながり



谷津田の自然の断面



1. 温和な気候と多様な水環境
 - ・ 温帯モンスーン
気温 13.5-15℃, 降水量 1300-1400mm
 - ・ 東京湾, 太平洋, 印旛沼・手賀沼
 - ・ 湧き水, 小河川
2. 特殊地形と多様な自然要素のセット
 - ・ 台地 (黒ボク土, ローム土) 乾燥
: 畑, 草地, 林地, 集落
 - ・ 斜面 (黒ボク土) 乾燥から湿潤
: 林地 (落葉樹林, 照葉樹林, 針葉樹林, 竹林)
 - ・ 低地 (黒泥土, グライ土) 湿潤
: 水田, 池・沼, 水路, 河川, 湿原
3. 伝統的な人々の暮らしと農林漁業に培われた自然環境が融合・単位化
 - ・ 米, 野菜, 根菜, 野草・きのこ, 木材, 魚介, 動物などの食料
 - ・ 豊富な水, 少ない風水害, 肥沃な土壌, 美しい景観
 - ・ 伝統行事, 文化的遺産, 秩序ある村組織
4. 生態的特性
 - ・ 高い生物多様性 (high biodiversity)
 - ・ 自然要素の連続性 (continuity)
 - ・ 自立した生態系 (semi-closed ecosystem)
 - ・ 持続的な景相 (sustainable landscape)

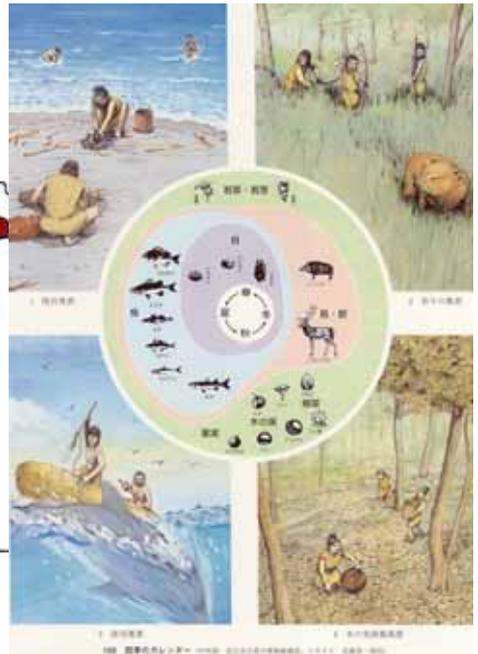
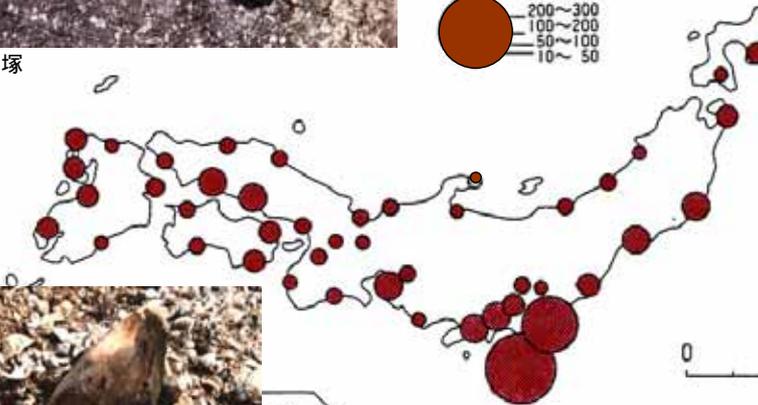
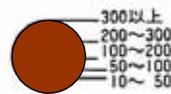
19



有吉南貝塚

縄文時代からの里海・里山の豊かさ！

- ・ 千葉県貝塚数 694ヶ所
- ・ 世界一の貝塚密度



有吉北貝塚のイノシシ頭骨

図 5-2-1 縄文時代の貝塚分布

(戸沢充則編 1989を改図)

宇宙から見た 千葉県



(c)東京情報大学

21

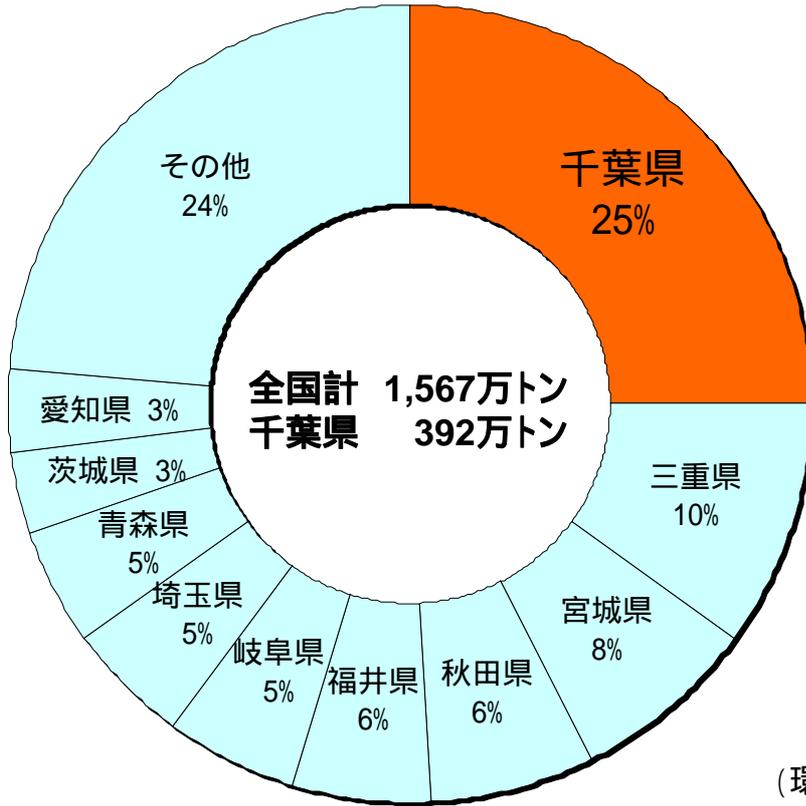


削られ,埋められ,ゴミ・産廃が捨てられる里山



22

不法投棄等の残存量(平成17年度末時点)

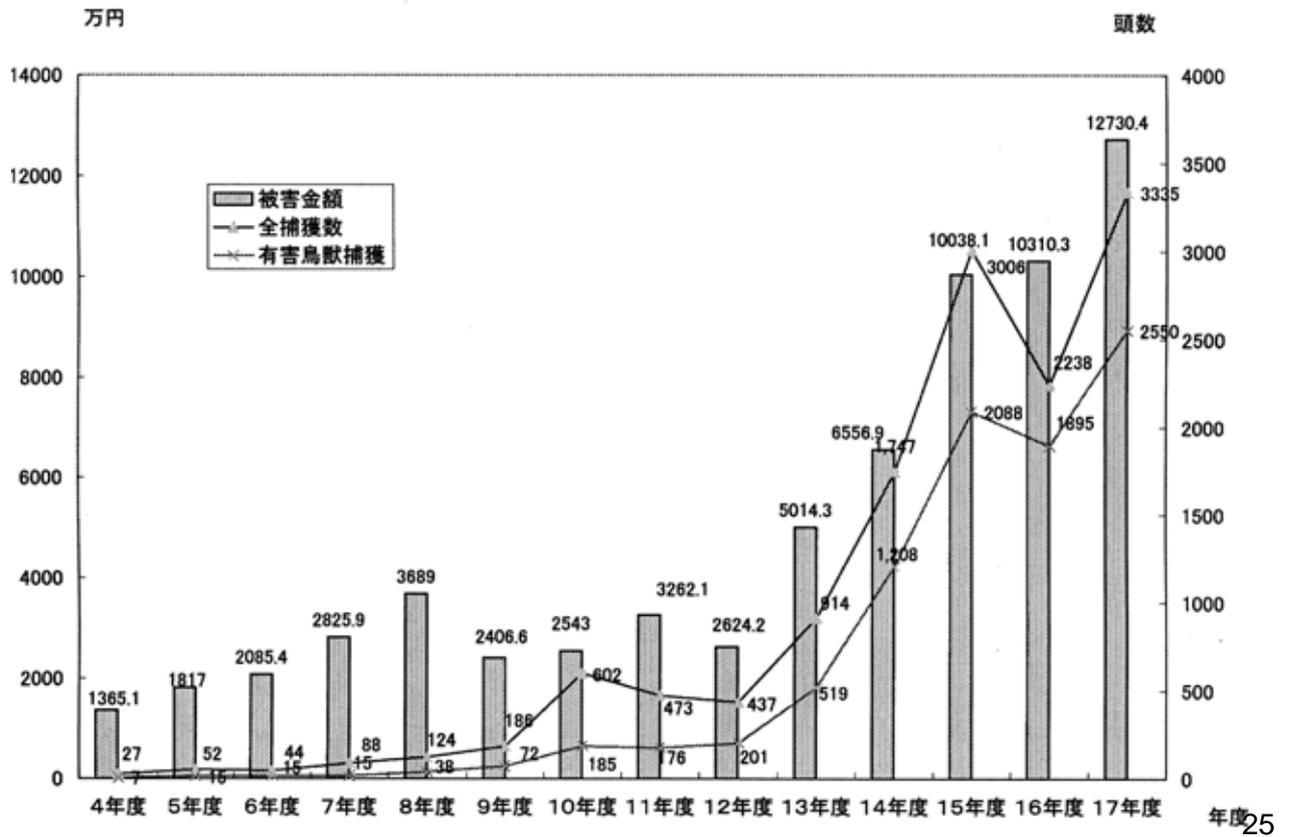


(環境省調べ)



放置され、外来生物等で荒れる里山

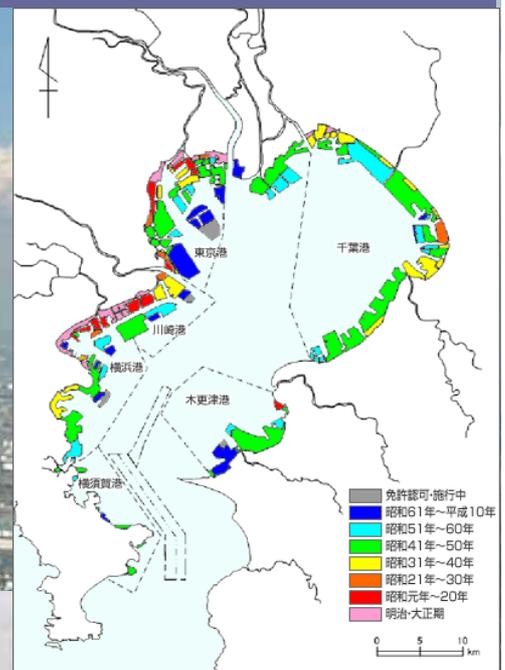
千葉県におけるイノシシにおける被害金額と捕獲数



埋立て・開発される里海

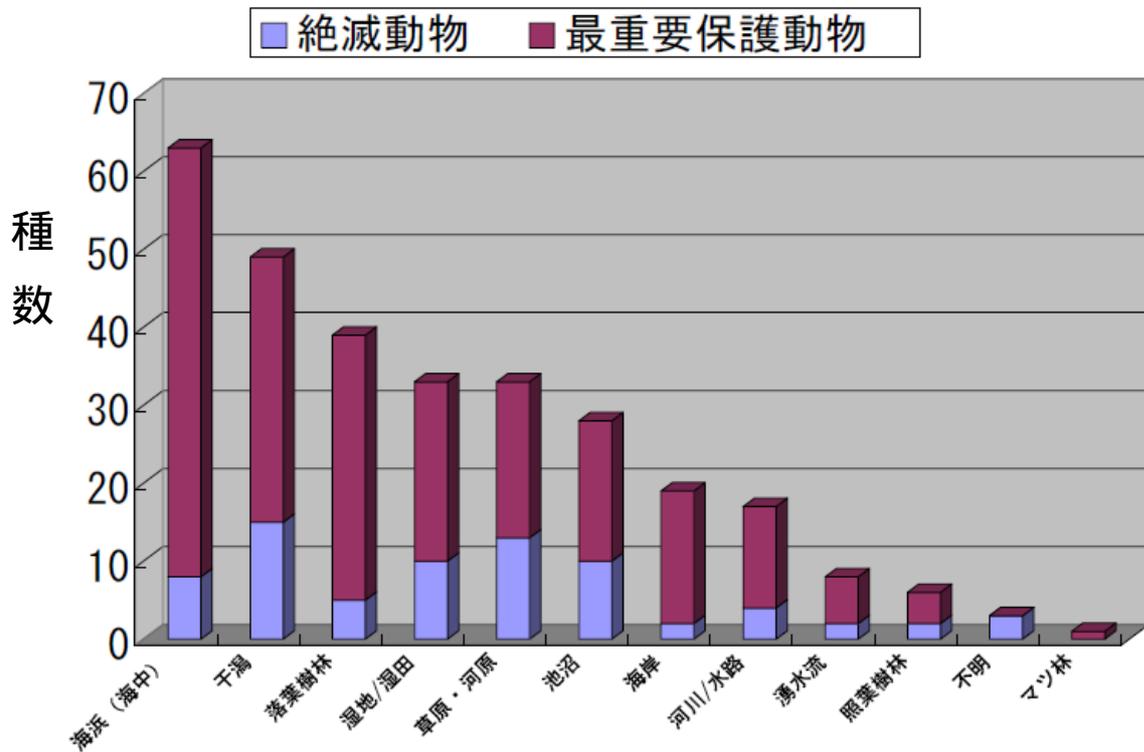


工場が林立する東京湾の埋立地



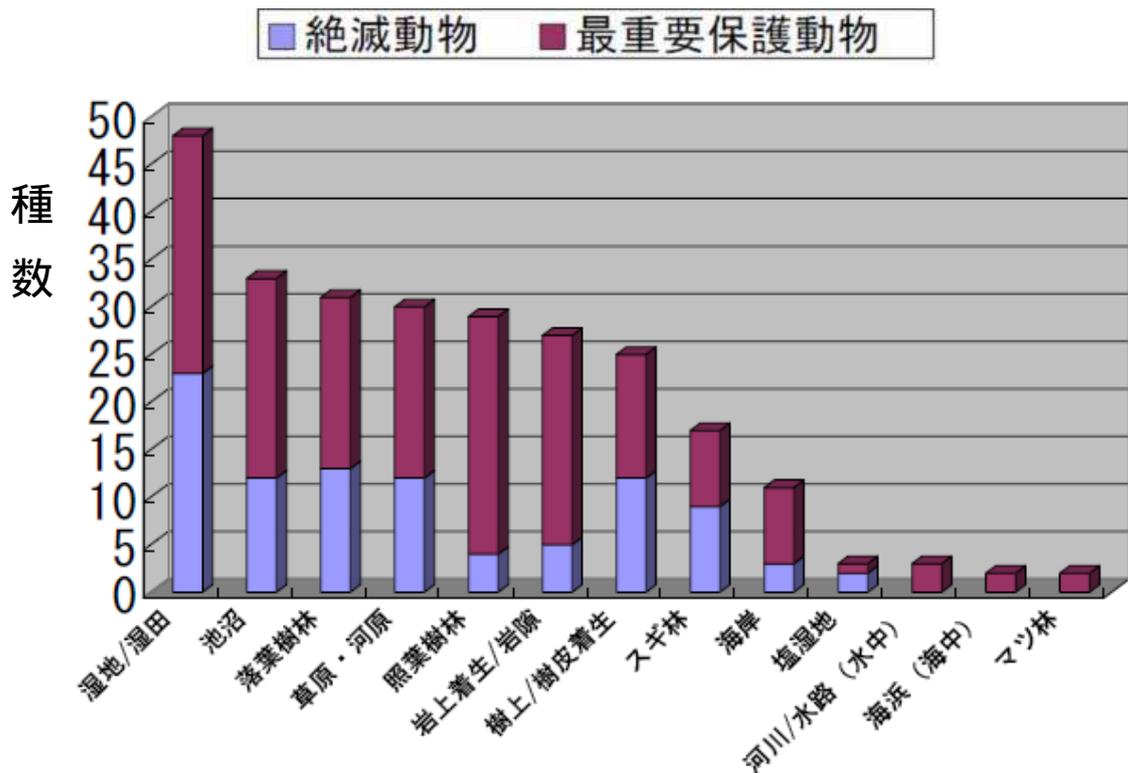
青潮の発生

千葉県 の絶滅種・最重要保護 **動物** の生息環境とその種数



27

千葉県 の絶滅種・最重要保護 **植物** の生育環境とその種数



28

三番瀬の保全と再生への取組

三番瀬の埋立て中止を表明
平成13年9月26日

円卓会議を設置・開催
平成14年1月～16年1月

再生会議を設置・開催
平成16年12月～



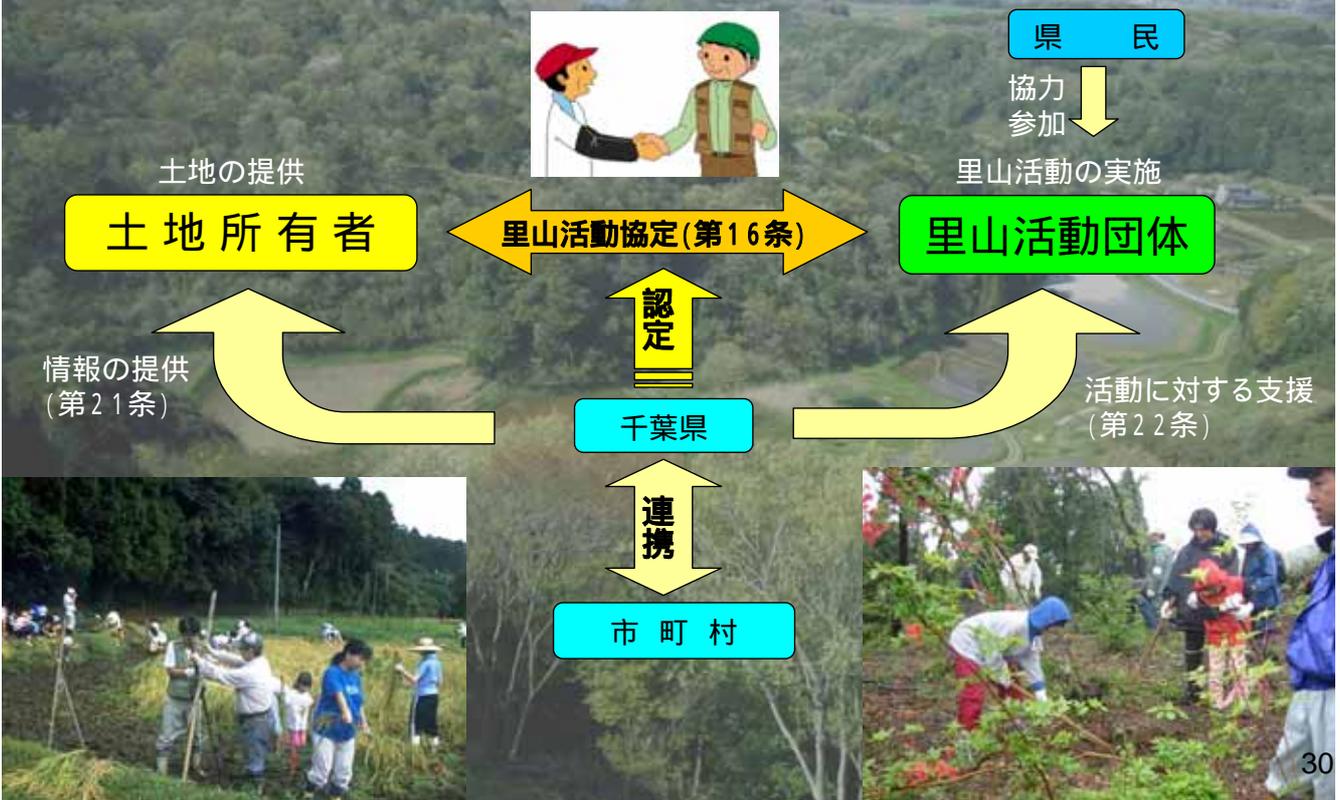
千葉県三番瀬再生計画(基本計画)の策定
平成18年12月20日

千葉県三番瀬再生計画(事業計画)の策定
平成19年2月19日

平成19年度千葉県三番瀬再生実施計画の策定
平成19年3月30日

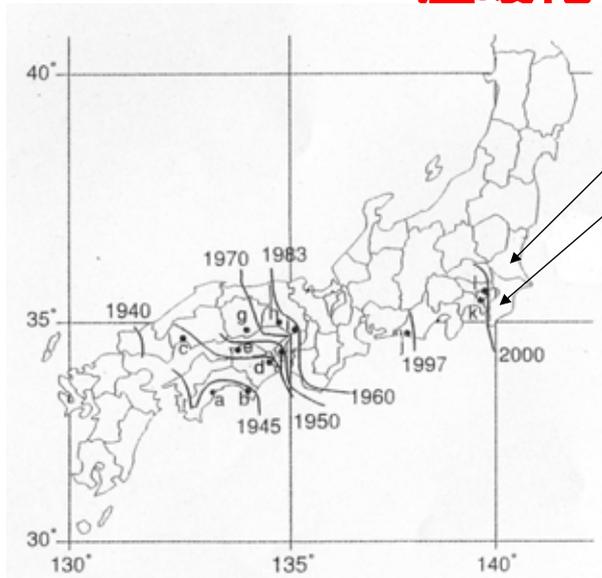
里山条例の仕組み

- ・人と里山との新たな関係を構築
- ・人と自然とが共生する豊かな「里山」を次代に引き継ぐ



ナガサキアゲハの分布北上

～ 温暖化の影響 ～



2007年現在茨城県に到達

2000年頃から千葉県に分布, 現在は発生・定着



注 数字は年号。a～lは気温の解析を行った全12の都市や地点。

出典：北原正彦他「日本におけるナガサキアゲハ (*Papilio memnon* Linnaeus) の分布の拡大と気候温暖化の関係」『蝶と蛾』日本鱗翅学会誌, 52(2001)

千葉県の特徴的な生物

(1) 南方要素

【植物】

ハマオモト
ハマウド
クロバイ
オガタマノキ
など



【動物】

ルーミスジミ
カワイヒラアシコメツキ
クチキコオロギ
ハマオモトヨトウ
など



千葉県の特徴的な生物

(2) 北方要素

【植物】

ヒメコマツ

ヒカゲツツジ

アサダ

オオウラジロノキ

など



【動物】

オオトラカミキリ

ナカムラオニグモ

タカネトンボ

オオキバナガミズギワゴミムシ

など

33

(仮称) 生物多様性ちば県戦略の策定について
本日の説明

「(仮称) 生物多様性ちば県戦略」
の必要性と方向性

34

県戦略策定の必要性

豊かな千葉の自然環境が損なわれている

地球温暖化によって、生態系そのものも変化が予測される

千葉県の特性を踏まえた生物多様性の保全・再生の総合的・横断的対策が必要

35

(仮称)生物多様性ちば県戦略の方向性

千葉の自然の特徴をふまえた保全と利用

里山と里海の豊かさ・つながりの再生

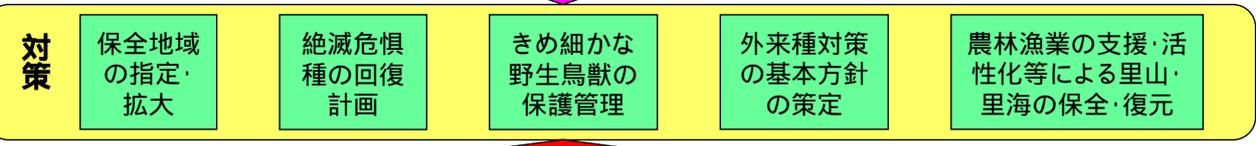
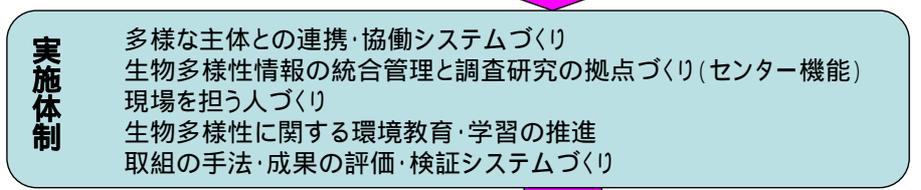
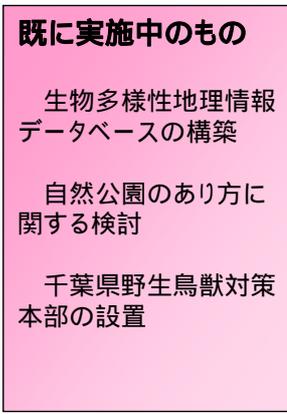
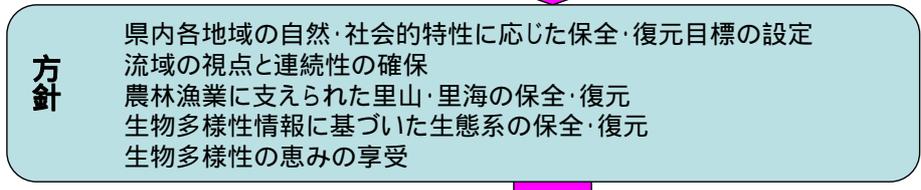
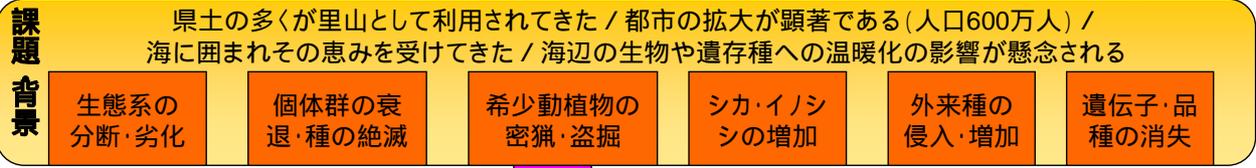
生物多様性資料・情報データベースの構築

県民みんなが担い手

36

(仮称)生物多様性ちば県戦略の方向性

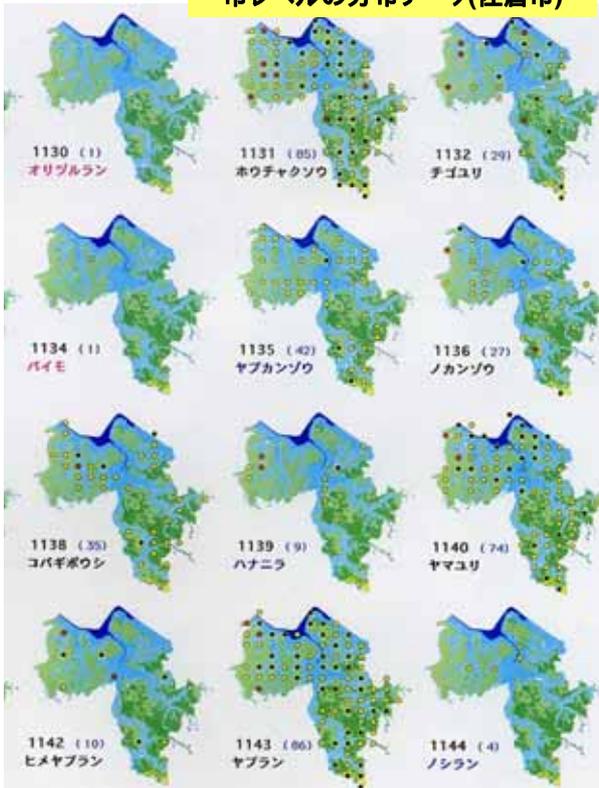
生命のにぎわいとつながりをよみがえらせ、人と自然と文化が調和・共存する持続可能な社会システム構築のために



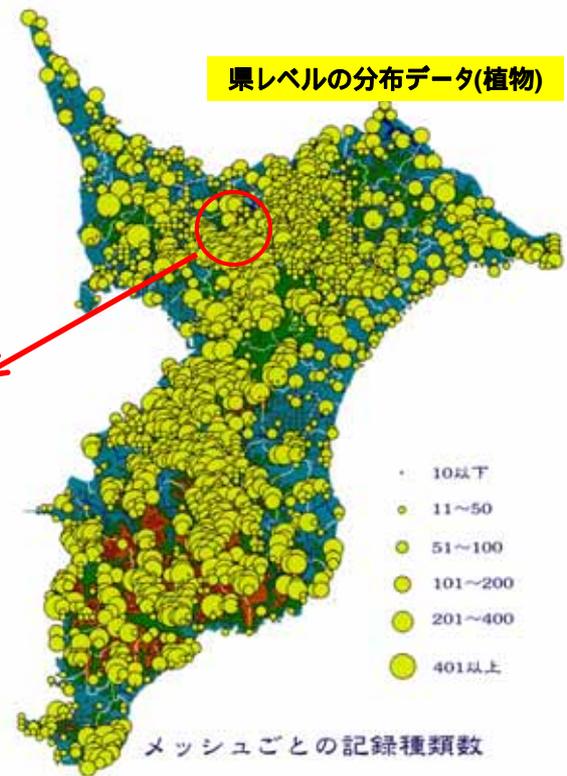
生物多様性地理情報データベースの構築

県立中央博物館等に蓄積されてきた生物に関する情報を一元的に管理し、生物多様性の現状を把握し、保全・復元の基礎とする。

市レベルの分布データ(佐倉市)



県レベルの分布データ(植物)



(作成・大場達之)

G20グレンイーグルズ閣僚級対話 関連事業

G20グレンイーグルズ閣僚級対話

(CO2排出国の関係等による国際会議 H20年3月予定)

議題

- ・気候変動
- ・クリーンエネルギー
- ・持続可能な開発
(Sustainable Development)

反映



G8 日本サミット (H20年夏)

「G20ちば2008」記念シンポジウム
(8/8)

エコメッセ2007inちば
(9/9)

環境シンポジウム千葉会議
(11/18)

G20記念講演会

現時点での主な事業

39



40